

広域広報

なんぶ

南部広域行政組合広報誌



議会：平成17年度決算を承認（3P）



南廃協：糸満市議会と意見交換（5P）



教育研究所：教育講演会を開催（6P）



しののめ教室：体験活動報告（8P）

目 次

組合の概要	2 P
議会	3 P
総務	3・4 P
最終処分場建設準備室	5 P

教育委員会	6 P
島尻教育研究所	6・7 P
適応指導教室「しののめ教室」	8 P



▲平成18年第4回議会（定例会）



南部地区市町村議会議長会等で推選された新議員

玉寄文雄
(栗国村議長) 神谷信吉
(八重瀬町議長) 城間信三
(西原町議長) 川平義範
(南城市議長)

11月21日に、財政課長及び組合事業に関係する課長会議を開催し、平成19年度事業計画を示した担当課長からは当面緊急とする処分場の負担金等に質疑が集中し、西原町から「処分場の負担金は状況によって建設費に係る負担金を補正して建設費に係る負担金を補正する」との説明を行った。

11月21日に、財政課長及び組合事業に関係する課長会議を開催し、平成19年度事業計画を示した担当課長からは当面緊急とする処分場の負担金等に質疑が集中し、西原町から「処分場の負担金は状況によって建設費に係る負担金を補正して建設費に係る負担金を補正する」との説明を行った。

11月21日に、財政課長及び組合事業に関係する課長会議を開催し、平成19年度事業計画を示した担当課長からは当面緊急とする処分場の負担金等に質疑が集中し、西原町から「処分場の負担金は状況によって建設費に係る負担金を補正して建設費に係る負担金を補正する」との説明を行った。

11月21日に、財政課長及び組合事業に関係する課長会議を開催し、平成19年度事業計画を示した担当課長からは当面緊急とする処分場の負担金等に質疑が集中し、西原町から「処分場の負担金は状況によって建設費に係る負担金を補正して建設費に係る負担金を補正する」との説明を行った。

11月21日に、財政課長及び組合事業に関係する課長会議を開催し、平成19年度事業計画を示した担当課長からは当面緊急とする処分場の負担金等に質疑が集中し、西原町から「処分場の負担金は状況によって建設費に係る負担金を補正して建設費に係る負担金を補正する」との説明を行った。

11月21日に、財政課長及び組合事業に関係する課長会議を開催し、平成19年度事業計画を示した担当課長からは当面緊急とする処分場の負担金等に質疑が集中し、西原町から「処分場の負担金は状況によって建設費に係る負担金を補正して建設費に係る負担金を補正する」との説明を行った。

★島尻教育研究所負担金38
調整基金より充当
☆事務局運営負担金2908
万5千円（市町村負担額は2798万円、差額は財政

いて
○協議第1号 平成19年度南
部広域行政組合負担金につ
いて
○報告第2号 平成17年度南
部広域行政組合一般会計歳
入歳出決算報告

○報告第1号 平成17年度南
部広域行政組合一般会計歳
入歳出決算報告

18年1月の市町村合併により
負担金が増加した市町村に対
して平成17年度負担金を据置き、
増加分を組合の財政調整基金
から充当していくという内
容について協議を行った。

11月24日に組合を構成する
市町村長協議会を開催し、平
成17年度事業及び決算報告の
ほか、平成19年度組合負担金
について協議を行った。

18年1月の市町村合併により
負担金が増加した市町村に対
して平成17年度負担金を据置き、
増加分を組合の財政調整基金
から充当していくという内
容について協議を行った。

11月24日に組合を構成する
市町村長協議会を開催し、平
成17年度事業及び決算報告の
ほか、平成19年度組合負担金
について協議を行った。



▲関係市町村長協議会

○報告第3号 南部広域行政
組合と南部広域市町村圏事
務組合との統合について

☆一般廃棄物最終処分場負
担額は897万6千円、差
額は財政調整基金より充当
★視聴覚ライブラリー負担
金4130万円（財政調整
基金の充当はなし）
※建設候補地が決定した際は、
補正予算にて対応

南部広域行政組合の概要

○沿革

昭和56年4月1日	伝染病予防法に基づく伝染病隔離病舎の設置運営のため、那覇市を除き浦添市、西原町を含む南部20市町村で設立（複合的一部事務組合）。
平成6年4月1日	島尻教育研究所事業が加わる。（島尻教育研究所の設置）
平成10年4月1日	島尻教育研究所の中に適応指導教室「しのめ教室」を開設。
平成11年3月31日	伝染病予防法の廃止により伝染病隔離病舎事業が廃止。（浦添市、西原町、仲里村、具志川村が組合を脱退し、構成市町村は16市町村になる）
平成14年4月1日	一般廃棄物最終処分場事業が加わる。（西原町が再加入し、組合を構成する市町村は17市町村となる。）
平成18年1月1日	構成市町村の廃置分合により、13市町村の構成となる。

○事業を共同処理する市町村（組合構成13市町村のうち事業ごとに共同処理する市町村が異なります。）

視聴覚ライブラリー事業
(11市町村)

糸満市	豊見城市	南城市	八重瀬町	与那原町	南風原町
南風原町	渡嘉敷村	座間味村	粟国村	渡名喜村	北大東村

島尻教育研究所事業
(10市町村)

糸満市	豊見城市	南城市	八重瀬町	与那原町
南風原町	渡嘉敷村	座間味村	粟国村	渡名喜村

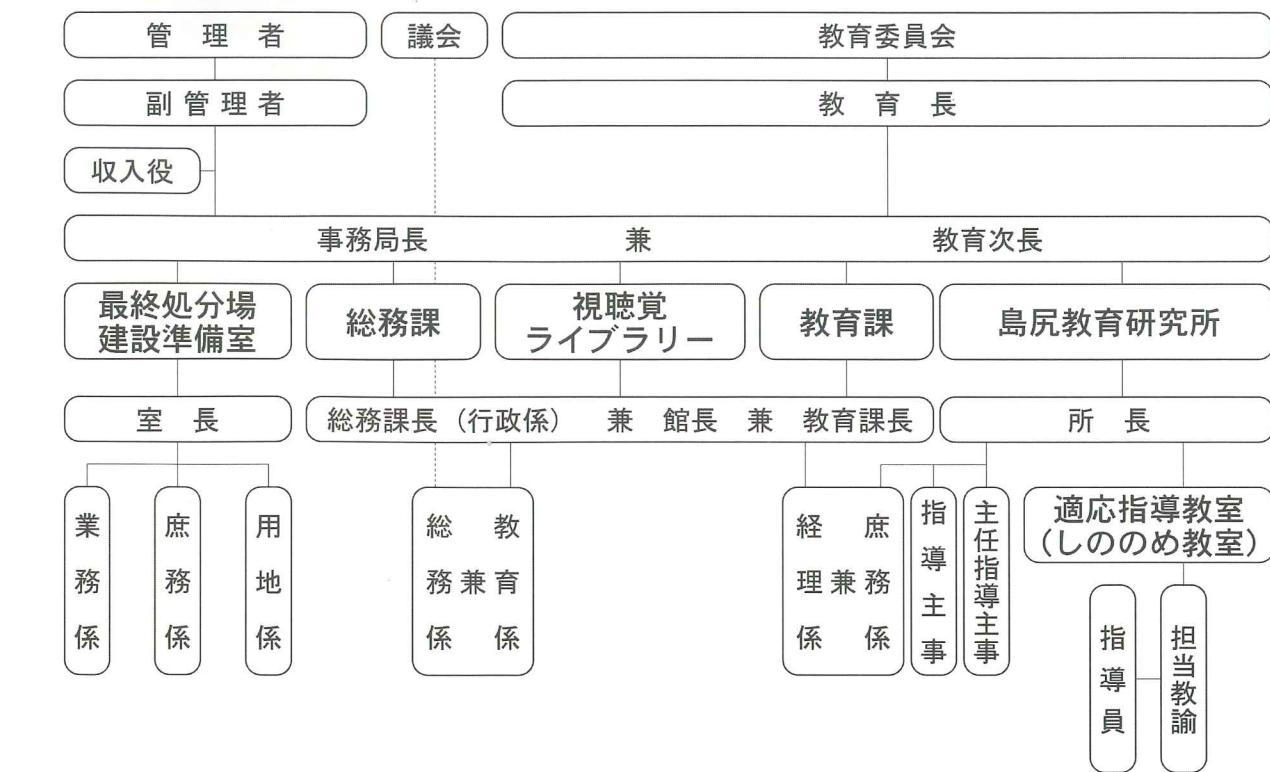
適応指導教室事業
(9市町村)

糸満市	豊見城市	南城市	八重瀬町	与那原町
西原町	渡嘉敷村	座間味村	粟国村	渡名喜村

一般廃棄物最終処分場事業
(6市町)

糸満市	豊見城市	南城市	八重瀬町	与那原町

○組合の組織図



建設予定地を糸満市大度区に決定

糸満市議会が反対決議！

■糸満市議会意見交換会

糸満市議会側と南廃協正副会長との意見交換会が9月26日午前10時と10月20日午後4時の2回にわたり、糸満市役所議会全員協議会室で行われた。同議会ではこれまで、6月定例会で市内への建設反対決議がなされた。

糸満市側の理事からは、「議は十分に尽くされている」「選定部会の決議を尊重すべき」との意見があり、採決の結果、建設予定地は大度区に決定した。

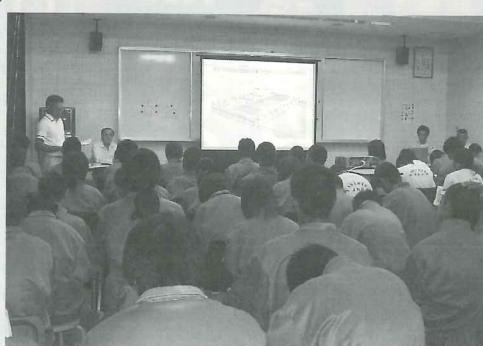
糸満市議会側から、「誘致のあった地区からの絞込み手順を問題とする意見も出たが、大勢の理事からは「手順の論議は大度区が建設可能と判断された」と報告された。

糸満市議会側と南廃協正副会長との意見交換会が9月26日午前10時と10月20日午後4時の2回にわたり、糸満市役所議会全員協議会室で行われた。同議会ではこれまで、6月定例会で市内への建設反対決議がなされた。

■理事会の開催（6/18）



南部のごみ問題を考える学習会



糸満市立高嶺中学校三年生が受講

糸満市立高嶺中学校三年生80名が、10月19日午後2時から、同校の視聴覚教室にて学習会が行われた。

この日の学習会には南廃協の玉寄事務局長が講師に招かれ、循環型社会の姿や南部地区のごみ処理の現状についてなど、これまで他の地域に依存していたことに触れ、「自らのごみは自分で処理しなければならない」と強調した。

この冒頭で、南廃協の古堅会長は、「糸満市議会では反対の議決もされているが、地元の大度区からは誘致の要請もある。どうしても必要な施設を決議している」。

7月4日には用地選定の再考を求め、さらに7月24日の臨時議会で大度区への建設反対を決議している。

これを受けて話し合いがなされたが、議会側からは、「6月の議会の議決は今も生きている」などの厳しい意見があり、前向きの提案もなく、現状を開示する糸口は見出せなかつた。

二、一般廃棄物最終処分場建設準備室	
①南部地区廃棄物処理施設整備推進協議会（南廃協）の運営	・臨時会2回（7月、11月）
②候補地選定に関する市町村ヒヤリング	・構成市町村財政課長及び関係課長会議の開催（11月）
③組合広報誌の発刊（年2回）	・南部広域行政組合関係市町村長協議会の開催（11月）

四、島尻教育研究所関係	
○島尻教育研究所	①管内市町村の幼稚園、小学校、中学校から教育研究員（長期研修）の受け入れ
	・前期5名・後期7名
	②指導講師による指導
	③所内研修・所外研修の実施
	④研究報告会の開催（2回）
	⑤短期研修講座
	（情報教育、幼稚園教育）の実施
	⑥幼稚園教頭・主任等研修会の実施
	⑦研究協力員による調査・研究事業
	（本研究所修了者の小・中学校教諭による研究事業）
	⑧教育文化講演会及び公開授業の開催
	⑨全教連、沖教連主催研修会への参加
	⑩島尻教育研究所運営委員会の開催（2回）
	（久米島町クリーンセンター）
⑪南廃協広報誌の発刊（毎月構成市町村全戸数）	（ホームページの随時更新）

五、視聴覚ライブラリー	
①視聴覚教材・機材の貸出し（貸出件数595件）	②視聴覚ライブラリー運営委員会の開催（4回）
③視聴覚教材・機材の購入（間味村・栗国村）	④離島利用促進研修会の開催（座間味村・栗国村）
⑤管内本島の小中学校・各種団体等への教材・機材の搬送・機材の搬送及び収受（143日運行）	⑥管内離島への港口まで、教材・機材の搬送及び収受
⑦全国視聴覚教育総合研究大会への参加	⑧沖縄県視聴覚ライブラリー連絡協議会への参加

(歳入)		(歳出)	
款	項	予算現額	収入済額
1.分担金及び負担金	1.負担金	203,672,000	203,672,000
2.国庫支出金	1.国庫補助金	1,000	0
3.県支出金	1.県補助金	1,501,000	1,500,000
4.財産収入	1.財産収入	1,000	0
5.繰入金	1.繰入金	1,500,000	1,500,000
6.繰越金	1.繰越金	68,000	37,869
7.諸収入	1.預金利子	68,000	37,869
8.組合債	1.組合債	1,000	0
歳入合計		215,351,000	215,329,006
歳出合計		215,351,000	177,849,849
* 単位：円			
1.議会費	1.議会費	666,000	511,615
2.総務費	1.一般管理費	34,806,000	34,627,430
3.衛生費	1.監査委員費	34,692,000	34,514,150
4.教育費	1.教育総務費	114,000	113,280
5.公債費	1.最終処分場費	127,190,000	94,178,550
6.予備費	1.利子	50,981,000	48,532,254
	1.予備費	1,000	0

平成19年度予算審議

10月5日（木）に第4回定例会を開催しました。

- 報告第2号 平成17年度南部広域行政組合事業報告
- 報告第3号 平成17年度南部広域行政組合一般会計補正予算（第1号）

- 議案第16号 平成18年度南

- 議案第17号 平成19年度教育研究所負担金について

- ☆原案可決

- 報告第4号 平成18年度事業（島尻教育研究所、適応指導教室、視聴覚ライブラリー）

- 議案第18号 平成19年度教育研究中間報告

- 議案第19号 平成19年度適応指導教室負担金について

- ☆原案可決

- 報告第5号 平成19年度教育研究員募集要項について

- ☆原案可決

- 議案第18号 平成19年度適応指導教室負担金について

- ☆原案可決

- 議案第19号 平成19年度教育研究員募集要項について

- ☆原案可決

- 議案第18号 平成19年度適応指導教室負担金について

- ☆原案可決

平成18年度短期研修講座開催

夏休の短期研修では「幼稚園教育」「幼小中コンピュータ実技講座」が行われ、各講座に多くの先生方の参加がありました。

■幼稚園教育研修

7月24日・25日の2日間78人の受講者を対象に開催。



楽しく踊りに挑戦

■コンピュータ実技講座



真剣です 幼稚園の先生方

幼稚園教頭・主任等研修会
主任等研修会第3回「東雲の会」
役員・会則決まる

8月25日は第3回「東雲の会（修了者の会）」が行われた。午前は「危機管理の取組」について糸満市教育委員会指導主事大城直之先生の事例報告と「幼稚園の危機管理、安全」について各分科会指

導主事多和田文子先生による実技研修では、「読み聞かせの基本や重要性を学び、他園の先生方と交流しながら立体絵本の作成」に挑戦しました。比嘉美也子先生の講話は「幼稚園要領を常に読み返すことの大切さを確認し、分かりやすい事例をもとに幼稚園教育の基本」を示しました。また、那覇市子どもみらい局子育て応援課並里しげみ先

10月5日（木）に第4回定例会を開催しました。参加者は「…結果にこだわる教育を追究することは、子どもに対する責任を果たせたかを問うものである。そこに、素晴らしいプロセスがなければ結果はついてこない。結果を追究する厳しさをこれからも考えていくべき」との感想をよせていました。

「教育は、結果で勝負するものである」、「指導と評価の一元化から授業作りの見直しをしてほしい」と強調した。そして、教師に求められる授業力として①基盤としての教材研究力、②単元の授業設計力、③形成的評価を駆使しての授業展開力の3ステップの必要性を説いた。また、教師に求められる見識として「意義あ

生の実技研修では「楽しい雰囲気の中で、児童との関わりに応じた曲・ダンス・踊りの表現活動」をたくさん学びました。

小中高級講座の受講者は7人と少なかつたが3種類の教材作成支援ソフトの紹介と利用法を学び、各自で教材作成に挑戦しました。

で研究討議が行われました。午後は「幼稚園の自己点検、自己評価の取組」について仲西幼稚園副園長比嘉美也子先生の実践発表と「幼稚園の自己点検、自己評価の進め方」について分科会で活発な討議が行われました。

参加者からは、「職員の危機管理に対する意識を高め、地域・小学校との協力体制を図る」「外部評価、自己評価の違いが分かった。他園の評価項目も参考になった」等の感想があつた。

創造の旅などについて語されました。



西江 重勝氏

教科・領域	研究員名	所 属
小学校社会	内間 晃	長嶺小学校
小学校体育	城田 聰	大里南小学校
小学校道徳	下地 恵	潮平小学校
中学校数学	奥原絵理子	東風平中学校
中学校保健体育	平良 真也	潮平中学校
中学校教育相談	桃原 節子	具志頭中学校

後期教育研究員
入所（第25期）

加藤先生は、中央教育審議会専門委員の立場から、小学校英語や総合的な学習の時間等の今後の動向について情報を提供しながら90分間講演をされました。

「教育は、結果で勝負するものである」、「指導と評価の一元化から授業作りの見直しをしてほしい」と強調した。そして、教師に求められる授業力として①基盤としての教材研究力、②単元の授業設計力、③形成的評価を駆使しての授業展開力の3ステップの必要性を説いた。また、教師に求められる見識として「意義あ

る他人としてのまなざし、父性原理・母性原理」について分かりやすく説明しました。参加者は「…結果にこだわる教育を追究することは、子どもに対する責任を果たせたかを問うものである。そこに、素晴らしいプロセスがなければ結果はついてこない。結果を追究する厳しさをこれからも考えていくべき」との感想をよせていました。

「教育は、結果で勝負するものである」、「指導と評価の一元化から授業作りの見直しをしてほしい」と強調した。そして、教師に求められる授業力として①基盤としての教材研究力、②単元の授業設計力、③形成的評価を駆使しての授業展開力の3ステップの必要性を説いた。また、教師に求められる見識として「意義あ



熱心に授業参観

翌日は算数の公開授業と「授業作りについての講話と質問会」を行いました。参考者からは、「充実した授業・研究会だった。こども達が何度も考え直し、答えを導いていく中で、正しい答えを導き出し、ちゃんととした理由も発表できていた。すごいなあと感心しました」との声がありました。

■授業者：京都ノートルダム女子大学教授 加藤 明

■授業内容：「数学的な見方・考え方を育てる授業のあり方」～関心・意欲・態度を高める指導とは～

■日 時：平成18年11月21日(火) 14:20～15:05

■会 場：東風平小学校 5年1組

■参加人数：162人(幼稚園3人、小学校130人、中学校9人、一般20人)

■講 師：京都ノートルダム女子大学教授 加藤 明

■日 時：平成18年11月20日(月) 15:30～17:00

■会 場：東風平農村環境改善センター

■参加人数：313人(幼稚園11人、小学校261人、中学校24人、来賓等17人)

島尻教育研究所 教育講演会・公開授業開催

「今教師に求められる授業とは」→新教育課程の動向と指導力向上→



加藤 明 教授



創設十周年を迎える

平成8年に南部広域行政組合島尻教育研究所適応指導教室「しののめ教室」が創設され、10年目の節目を迎えた。平成8年度～17年度までの入室状況等は表の通りです。

当教室では、心因性の不登校児童生徒に対し、体験活動、学習指導、教育相談等の援助指導を通して自立心を高め、社会性を身につけさせ、学校復生活への適応を図り、学校復帰を目指しています。

体験活動

当教室の児童生徒にとって体験活動は重要なポイントのひとつと捉え、当教室の児童生徒の多くは、最初から「私は出来ない」という自己肯定感を低く設定しています。そのため体験活動では「好きなこと」から始めさせ「出来ていること」を認め、「私もやれば出来るんだ」という「自信」をつけさせることで「心にエネルギーが充電」され、自己肯定感が高まると考えています。



▲芋のカズラ植え



▲豆腐づくり



▲テント設営

学習支援ボランティア

夏休みに学習支援ボランティアを募集したところ3人の方が応募し学習支援ボランティア名簿に登録をして下さいました。2人が退職教諭、もう1人が現役大学生です。
毎週水・金曜日は退職女性教諭による国語の学習支援、第1・3木曜日は退職男性教諭による理科の学習支援、第2・4木曜日は現役大学生による英語の学習支援日となっています。
児童生徒の反応は「分かりやすい」「続けた方が良い」など好評である。



教育現場で使える カウンセリング実践講座

第1回「軽度発達障害のある子どもの理解と対応」(6/14)

講師:大城政之

第2回「クラス運営に行かすSST」(8/22)

講師:島袋有子

第3回「人間関係探求の心理劇」(8/22)

講師:浅野恵美子

第4回「Q-Uを用いた学習集団のとらえ方、育て方」(8/23)

講師:稻葉律子

第5回「事例から学ぶ教育相談」(8/23)

講師:伊是名聰

第6回「自律訓練法トロールレタリング」(1月下旬)

講師:与那城郁子